

# 濱口道成 日本の科学技術の未来図を双肩に担う、異能の研究者

文 高橋 誠

Text by Mac Takahashi

・ 学校法人慈恵大学広報推進室長  
・ 医療・健康コミュニケーター

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の濱口道成理事長（名古屋大学前総長、現名誉教授）は、腫瘍生物学、腫瘍生化学、細胞生物学を専門とする医学博士です。名古屋大学大学院卒業後、米国ロックフェラー大学で分子腫瘍学を学んだ後、名古屋大学大学院医学系研究



濱口氏作「牡丹」。著名画家達からの評価も高く、院展への出品を勧められている。

秀な医師や青少年を短期間日本に招き、大学、医科大学、研究機関で、最先端の日本の科学技術に触れ、交流してもらう事業を推進しています。

経営、研究、創作に生きる、  
本質を見抜く慧眼とお人柄

キャリアを通じ数々の異彩を放ってきた濱口氏が、JSTトップとして最も力を入れているのが、日本の科学技術のブランディング。エビデンスに基づいた近未来予測とイノベーションの創出によって、人類社会に希望をもたらし、世界に評価される科学技術を実現することで

会の発展、振興に努めて来ました。  
濱口氏は、がん研究では、名古屋大学医学部長時代の2007年、RNA干渉

ご家族をこよなく愛し、画廊から引き合いもあるほど絵画の才能も発揮される



## Profile

学校法人慈恵大学広報推進室長。医療・健康コミュニケーター。  
東京生まれ横浜育ち。慶応義塾大学経済学部卒。ミスノ広報宣伝部、リクルート広報企画部、米国SPBC社New Design Conceptor（LA在住12年）、仙生露Executive PR Adviser、富士1ばんゴルフ副支配人/経営企画室長/広報室長を経て、2004年より現職。日米複数企業における広報・マーケティング経験から、難解な医療・健康をわかりやすくメディア・社会に伝えるべく、病院広報担当者間の勉強会「病院広報研究会」を立ち上げ、医療・健康コミュニケーション活動を研究中。趣味はゴルフ（Hdcp9）、ワイン（日本ソムリエ協会ワインエキスパート#58）。

Medicine Health  
医療・健康分野のスーパーバイオニアたち